

1985年度 立教大学国際学術交流

招 聘 研 究 員 講 座 案 内

講師 ジョンズ ホプキンス大学教授

小 野 孝 博士

公開連続講義（全10回）

於 5号館 5509教室

テーマ 「代数群の整数論とその応用」

日 時 4月11日(木)～6月20日(木)の毎週木曜日（除5月2日）

午後2時50分～4時20分

対 象 専門研究者（数学専攻の教員、大学院生）

公開講演会

於 セント・ポールズ会館

第1回 5月14日(火) 「方程式を解くことについて I」

第2回 5月21日(火) 「方程式を解くことについて II」

時 間 午後3時～4時30分

対 象 一般聴衆（学部学生、大学院生、教職員）

上記のほか、小野博士を中心としたセミナーを毎週火曜日、金曜日（但し、4月12日～6月28日）に行ないます。

参加希望の方は、数学事務室（☎03-985-2462）までご連絡下さい。

——問い合わせ先——

立教大学国際交流室

電話 03-985-2208

小野孝氏のプロフィール

1928年12月18日、西宮に生まれる。1952年東京大学理学部数学科卒業。名古屋大学助手、大阪市立大学講師を歴任された後、1959年に渡米され、British Columbia 大学助教授、Pennsylvania 大学教授を経て、1969年以来今日まで Maryland 州の Johns Hopkins 大学教授として精力的な研究活動が続けられている。

小野氏は、1950年代の代数群論の創成期にその研究を開始され、代数群論の発展に整数論的側面から大きな貢献をされた。特に、代数群の整数論的不変量として極めて重要な “Tamagawa number” についての詳細な研究、高次形式の Zeta 関数についての開拓的な研究、近年集中的な研究を推進されている二次球写像の整数論、等に貴重な業績を挙げてこられたのである。

さらに、その著書「オイラーの主題による変奏曲——二次形式、楕円曲線、ホップ写像」(実教出版、1980年)に述べられているオイラー(1707~1783)の数学への共感等からも容易に想像されるように、小野氏は整数論の歴史にも強い関心を向けられている。本学滞在中の諸講義においても、広い歴史的視野に支えられたお話を伺うことができよう。